

## 令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

### 【学校 目標】

○つながりを大切にする授業の創造 ～「読み解く力」の視点を踏まえ、「学び合い」を生かした協働学習の追究 ～

### 【現状と課題】

○視点1 「主体的に学ぶ態度」を育成するため、「読み解く力」の視点を踏まえ、協働的な学び」の推進やタブレット端末の効果的な活用を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を継続させる必要がある。  
 ○視点2 人権教育・道徳教育の充実を図るとともに、「生徒指導の3機能(自己存在感を高める・自己決定の場をつくる・共感的であたたかな人間関係を育成する)」を意識し、学びに向かう学習集団づくりに取り組む必要がある。  
 ○視点3 若手教員の育成、中堅教員のリーダーとしての役割を明確にするために校内OJT組織を中心に、教員相互の指導力向上に努める必要がある。また、家庭・地域との協働により、学校教育環境の整備に取り組む必要がある。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

#### 【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①子ども一人ひとりの学びの状況に応じた、個別最適な支援に努める。	・協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善(市学校教育評価)		
②仲間と協働して課題解決に取り組む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。	・主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会(市学校教育評価)		
③タブレット端末を効果的に活用した教育を推進する。	・授業では、タブレット端末などを使いながら、必要な情報を探したり、比べたり、整理したり、表やグラフを作って発表することに取り組んでいたと思いますか【(児童生徒向け)学びのアンケート(県)】		

#### 【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「生徒指導の3機能」を意識し、あたたかな人間関係、支持的風土を育てる学級・学年集団づくりを実践する。	・支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践(市学校教育評価)		
②人権教育・道徳教育の充実を図り、子どもの個性や多様性を認め、かけがえない存在として互いを尊重する教育を推進する。	・道徳科の授業で物事を様々な視点からとらえ、考えようとしていますか【(児童生徒向け)学びのアンケート(県)】		
	・		

#### 【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内のOJT組織の充実を図り、教員相互の指導力向上を目指す。	・教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上(市学校教育評価)		
②学校・家庭・地域の協働の充実を図り、子どもを育てる環境づくりを推進する。	・保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用(市学校教育評価)		
	・		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ①4月当初の職員会議において校長の学校経営方針や研究主任主任の「今年度の校内研究」の提案を通じて「学ぶ力向上」に向けた手立てや時期等について共通理解を図った。
- ②「学び合い推進グループ」「ICT活用グループ」を構成し、それぞれのグループによる授業研究会に講師を招聘して1学期に1回、計画・実施する。
- ③年間を通して一人一回以上の授業公開を行う。
- ④授業研究会や研究推進委員会において、定期的に取り組みの検証を行い、改善点を教職員に具体的に示す。
- ⑤年度末に取り組みの検証を行い、改善点も含んだ次年度への提言を行う。

#### 今年度の取組の成果と課題

--